



かえで

夢と笑顔と「ありがとう」が
あふれる 上里東小学校
令和4年 2月15日
第 21号

上里の子供たちを育てる合言葉：あいさつ、返事、靴そろえ、集中した清掃（膝つき清掃）

【校長賞】 1, 708冊（目標2500冊） 335名（目標425名） 2月10日現在

2月の全校朝会

夢と笑顔と「ありがとう」があふれる上里東小学校

～情けは人のためならず～

植西 聡 著『人生でいちばん大切なことはグリム童話が教えてくれる』より

ある年老いた貧しい木こりが、森の中で迷子になりました。何日もさまよい歩きましたが、森から抜け出すことができません。

そのとき、同じように森の中で迷子になった一人の子供と出会いました。子供は何日も食べ物を口にしていなかったので、お腹を空かせていました。そこで木こりは、手元にあったわずかばかりの食べ物を、子供にあげることにしました。

すると、子供が「そんなことをしたら、おじいさんが飢え死にしてしまうよ。だから、僕がその食べ物をもらうわけにはいかないよ」と言って断ったので、木こりはこう答えました。

「坊や。君はまだ若い。これからがある。しかし、わたしは見てのとおり老いぼれなので、そう長くは生きられない。だから、君がこれを食べて生き延びなさい」

やがて、木こりから食べ物をもらった子供は元気を回復し、無事に森から脱出することができました。

それから数日後、森の中で「もう食べる物もないし、動くこともできない」と、年老いた木こりが死を覚悟してうずくまっていると、数人の家来たちがやってきて、木こりに向かってこう言いました。

「あなたに食べ物を分けていただいた子供は、この国の王様がものすごく可愛がっていた息子です。王様は息子がなくなったので、毎日、心配していましたが、あなたのおかげで息子が助かり、無事に戻ってきたと大喜びしています」

家来たちは木こりに食料を与え、その後、家まで送り届けてくれました。そして助けてくれたお礼にと、王様から預かったたくさんの黄金を与えたのです。その結果、木こりは生活に困ることなく幸せに暮らすことができました。



まん延防止重点措置の適用が延長となり、授業参観が中止となるなど、学校行事等にも影響が出てきています。

人との接触が憚られる世の中となり、集団生活を営むことを基本とする学校においても、様々なやりにくさを実感しています。

特に、人と人とのふれあいをおして成長していく子供たちの活動が制限されてしまうのは、何とも辛いところです。そのような状況下ではありますが、困っている人や悩んでいる人、悲しんでいる人がいたら、手を差し伸べることができる、声をかけることができる子供たちに成長してほしいと願い、左にあるような話をしたところ です。

【好意の返報性の法則】人は誰でも、自分を助けてくれる人には感謝します。好感を持ちます。→「この恩をどこかで返したい！」

【情けは人のためならず】情けをかけると、それが自分に返ってくる。

人に親切にすると、結果的に相手のためだけでなく、
自分のもとへ恩恵となって跳ね返ってくる。

家庭学習の習慣を身に付けるには

今年度も「校長賞」の取組が、順調に進んでいます。子供たちが、家庭で一生懸命に取り組んで仕上げたノートを見るのは、楽しいものです。反面、なかなか家庭学習の習慣が身に付かず、悩んでいる家庭もあるかと思いません。2月3日付読売新聞に、参考になりそうな記事を見つけたので掲載します。(以下、新聞記事内容)



思春期の子育てアドバイザー道山ケイさんは年間約3000組の親子の勉強をサポートしている。「最近、小中学生の子供がゲームばかりして、全く勉強しないという相談が増えている」と話す。経験上、子供が自ら勉強するようになるには、親の努力が必要と強調する。

まず、1日15分、助言なしで子供の話を聞くことをすすめている。「聞く際に親が勉強の話をすると、子供にとってストレスになる」と指摘する。「今日の体育の授業でサッカーしたの?」「シート決めたの、すごいね」などとたわいのない話をし、共感することが大切だ。

次のステップは勉強のやる気を引き出すこと。どんなことをしたら子供がやる気を出すか考えよう。小学生なら宿題をやったら御褒美でシールを与えてもいい。中学生には、テストの点数が上がったらお小遣いをアップしたり、ゲームで遊ぶ時間を少し延長したりするなど、現実的な対価が効果的。「勉強が好きなのはほとんどいない。自然と勉強するようになるには、こうした対価も必要」という。

軌道に乗るまでは親のサポートが必要だ。勉強の仕方が分からなかったり、分からない問題があったりするとやる気がなくなるためだ。「手伝えることがあったら言って」と伝え、相談してきたタイミングで教えよう。

【親のできること】

- ① 1日15分子供の話聞く
- ② 勉強のやる気を引き出す
- ③ 親が勉強のサポートをする

【具体的な勉強法】

- ① 授業中に家で復習する箇所をチェック
- ② 暗記は同じ日に2回、翌朝、その1日後もやる
- ③ 机に座らなくてもできる勉強を生活に組み込む
- ④ 教科書で勉強したら必ず演習問題もやる
- ⑤ 間違った問題を集めたノートを作る

3月の行事等予定

日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
1	火	全校朝会 雑紙回収	16	水	B 5 日課
2	水	6年生を送る会 学校運営協議会 雑紙回収	17	木	B 5 日課
3	木	雑紙回収	18	金	B 5 日課 ふれあいデー
4	金	東っ子タイム	19	土	
5	土		20	日	
6	日		21	月	春分の日
7	月	挨拶運動	22	火	B 5 日課 挨拶運動 給食最終日
8	火	児童朝会	23	水	B 4 日課 6年修了式 卒業式準備
9	水	B 日課 クラブ最終	24	木	B 3 日課 卒業式 臨時休業日 (1~4年)
10	木	B 日課	25	金	B 3 日課 修了式 臨時休業日 (6年)
11	金	B 日課 登校指導	26	土	学年末休業日
12	土		27	日	
13	日	開校記念日	28	月	
14	月	B 5 日課 挨拶運動 通学班編成 一斉下校	29	火	
15	火	B 5 日課	30	水	
			31	木	